

News Release

(公財) 微生物化学研究会
微生物化学研究所 (微化研)

平成 25 年 2 月 1 日

高脂血症薬リピトール®の新規合成法 特許出願

安価・効率的・環境調和型な大規模合成法へ応用可能

ポイント

- 廃棄物ゼロのグリーンケミストリー
- 触媒のリサイクルによるコスト削減
- 合成工程の大幅な短縮：14 工程→9 工程

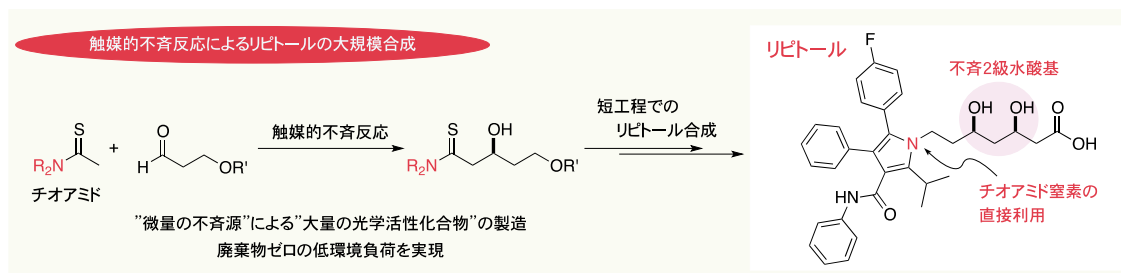
■背景

Pfizer 社が保有するリピトール®関連の物質特許は 2011 年に失効し、各製薬会社がジェネリック医薬品市場への参入を進めています。しかし、従来法では高価な触媒によるコストと合成工程の長さが問題であり、安価で効率的かつ環境に優しい合成ルートの開発が強く望まれています。

■本特許出願技術の特徴

当研究所の柴崎正勝所長らは、不斉触媒を用いることで上記諸問題を解決し、大規模合成にも応用可能な合成法を開発しました。

本合成法で使用している触媒は少量で、大量の光学活性化合物を合成可能であり、かつ回収・再利用することができます。これにより高額な触媒によるコストを削減することに成功しました。また、独自の反応の開発により工程の短縮、廃棄物ゼロを実現いたしました。



■今後

本特許出願技術の供与に向けて製薬会社に積極的に採用を働きかける方針です。

お問い合わせ 微生物化学研究所 知的財産情報部

電話：03-3441-4173（代表） E-mail：chizaijoho@bikaken.or.jp